

<材料化学システム工学討論会 2024> 報告書

幹事

杉目恒志(近畿大学)(文責)
菅原勇貴(東京科学大学)
伊與木健太(東京大学)

2024年10月24, 25日に同志社大学 東京オフィスにて材料化学システム工学討論会 2024が開催された。詳細は下記の通りである。

講演者・ 講演題目	～10月24日（木）～ 13:00～13:05 開会・集合写真(初日)撮影 13:05～13:10 材料・界面部会長（岡山大学 小野努 教授）挨拶 13:10～14:40 【依頼講演】「構造類似性に注目したゼオライトの設計と合成」 東京大学（正）村岡恒輝 氏 14:45～16:15 【依頼講演】「自己組織化材料におけるナノ界面物性の解析手法の検討」 大阪大学（正）渡邊望美 氏 (休憩) 16:25～17:55 【依頼講演】「燃焼反応を利用した金属一酸化物界面の創製と 固体触媒への応用」 金沢大学（正）藤原翔 氏 ～10月25日（金）～ 9:00～10:30 【依頼講演】「生物学的ナノ粒子の物理化学的性質に着目した疾 患の理解と治療・診断への応用」 東京大学（正）中村乃理子 氏 10:35～11:15 【学生講演】「ソフト多孔性錯体が示すゲート型構造転移挙動 の単一粒子レベル解析」 京都大学（学）有馬誉 氏 11:20～12:00 【学生講演】「ノイズ的攪乱を整流するラチェット」 同志社大学（学）畠谷実玖 氏 12:00～12:10 総括・閉会の挨拶
会場	同志社大学東京オフィス 〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目7一番 19号 京橋イーストビル 3階
聴講者数	20名(産 1名, 学 19名)

(次のページに続く)

【集合写真】



【備考】

2024 年度は昨年度に続きオンラインでの開催ができた。2 日間で一般講演者 4 名、学生講演者 2 名という、コロナ以前の日程・ボリュームにて実施された。参加者は 20 名となり、昨年度と同様にコロナ前と変わらない盛会となった。本討論会の特徴である討議が活発に行われ、発表時間が足りないほどであった。懇親会も盛り上がり、さらなる意見交換などが行われた。

2025 年度の主幹事は東京科学大学の菅原勇貴氏、副幹事は京都大学の平出翔太郎氏である。

以上